

NHO フェローシップ プログラム申請書

1. 研修プログラム名； 呼吸器内科プログラム

病院名：渋川医療センター

2. 診療科（専門領域）：呼吸器内科

3. コースの概要

留学期間中、呼吸器科にて呼吸器疾患全般にわたる症例を経験する。

4. 短期目標

呼吸器疾患（肺癌、びまん性肺疾患、慢性呼吸器疾患、呼吸器感染症）の診断に必要な基礎的知識、検査法、また、疾患、重症度に応じた治療法の基本を修得することを目的とする。

5. 長期目標

呼吸器病学の専門知識と幅広い内科的な臨床能力を取得し、医療人としての全人的な育成を行う。また、呼吸器科診療における問題点を発見、解決する能力を身につける。

6. 取得手技

呼吸器疾患における各疾患の診断基準を理解し、的確な診断および各疾患の活動性、重症度の基礎的判断力が修得できる。

基本的手技を中心に集学的治療に到る各種手技（①胸部X P・CTの読影、②気管支鏡、胸腔鏡、経皮肺・胸膜針生検、③肺癌の化学療法、④感染症対策（無菌管理））に関してもある程度修得できる。※下記参照

（研修内容一覧）

- 胸部レントゲン写真読影
- 胸部 CT 読影
- 気管支鏡
- CT ガイド下肺針生検
- 胸腔穿刺
- 胸膜生検
- 胸腔鏡
- 胸腔ドレーン挿入

- 気管挿管
- 中心静脈栄養カテーテル挿入
- molecular oncology
- 癌化学療法の基本
- 肺癌細胞診
- 肺癌の病理
- コミュニケーションスキル
- 急性期・慢性期の呼吸管理

7. 研修期間：6ヶ月

8. 募集人数：1名

9. 診療科の実績

● 肺がん関連

- 気管支鏡・・・・・・・・・・ 255例
- 局所麻酔下胸腔鏡・・・・・・・・ 9例
- CT ガイド下肺針生検・・・・・・・・ 9例
- 原発性肺がん初回治療例・・・・ 174例
 - 内、化学・放射線療法・・・・ 87例
 - 外科療法（切除例）・・・・ 87例

● 肺結核症 入院患者数・・・・・・・・ 123例

10. 診療科の指導体制

診療科医師数 常勤 6名

診療科研修の指導にあたる医師 3名

主として研修指導にあたる医師の氏名 吉井 明弘（経験年数 30年）

11. コンセプト

当科で取り扱う疾患は、肺癌、間質性肺炎などのびまん性肺疾患、気管支喘息や COPD、肺結核を中心とした呼吸器感染症など多岐に渡るのが特徴である。当科は病院長を含め、呼吸器科医7名で構成され、日本呼吸器学会指導医・専門医、日本呼吸器内視鏡学会指導医・専門医、日本内科学会専門医、日本アレルギー学会専門医、日本臨床腫瘍学会暫定指導医、がん薬物療法専門医がいる。また、上記学会の研修施設にも認定されている。研修に関しては、入院患者は

10-15名受け持ち、専門医の指導のもと診療を行う。また、週2回の呼吸器科カンファレンス、週1回の呼吸器内科外科病理カンファレンスに参加し、外来は上級医とのペアーで週1回担当する。それらの実践を通し、呼吸器科医として呼吸器疾患全般に渡り診療に必要な基礎的知識および技能診療能力を身につけられるよう研修する。

12. 共通領域研修について

呼吸器科カンファレンス（週二回）

内科外科病理カンファレンス（カンサーボード）（週一回）